

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 特 許 公 報 (B 1)

(11) 特許番号

特許第3501454号
(P3501454)

(45) 発行日 平成16年3月2日(2004.3.2)

(24) 登録日 平成15年12月12日(2003.12.12)

| | | |
|---------------------------|-------|---------------------|
| (51) Int.Cl. ⁷ | 識別記号 | F I |
| G 0 6 F 17/60 | 1 5 4 | G 0 6 F 17/60 1 5 4 |
| 19/00 | 1 0 0 | 19/00 1 0 0 |

請求項の数 8 (全 24 頁)

| | | | |
|--|-----------------------------|-----------|---|
| (21) 出願番号 | 特願2003-311856(P2003-311856) | (73) 特許権者 | 800000013 有限会社山口ティー・エル・オー 山口県宇部市東梶返1丁目10番8号 常盤工業会館内 |
| (22) 出願日 | 平成15年9月3日(2003.9.3) | (73) 特許権者 | 598154947 株式会社エイトコンサルタント 岡山県岡山市津島京町3丁目1番21号 |
| 審査請求日 | 平成15年9月16日(2003.9.16) | (73) 特許権者 | 591260672 中電技術コンサルタント株式会社 広島県広島市南区出汐2丁目3番30号 |
| (31) 優先権主張番号 | 特願2003-50157(P2003-50157) | (72) 発明者 | 古川 浩平 山口県宇部市常盤台2丁目16番1号 山口大学工学部内 |
| (32) 優先日 | 平成15年2月26日(2003.2.26) | (74) 代理人 | 100111132 弁理士 井上 浩 |
| (33) 優先権主張国 | 日本 (J P) | 審査官 | 岩間 直純 |
| <p>特許法第30条第1項適用申請有り 佐藤丈晴 外4名, ラフ集合を用いた土石流発生・非発生における地形の規則性に関する研究, 土木学会第57回年次学術講演会講演概要集, 日本, 2002年9月, p p. 885-886</p> <p>特許法第30条第1項適用申請有り 佐藤丈晴 外5名, 年月長崎災害におけるラフ集合を用いた土石流発生・非発生の評価ルール設定に関する研究, 土木学会論文集, 日本, 2002年12月20日, p p. 13-25</p> | | 最終頁に続く | |

(54) 【発明の名称】 防災事業計画支援方法とそのシステム

3

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】 コンピュータが各工程を実行しながら複数の箇所の自然災害発生・非発生の実績情報を解析して自然災害発生の危険度を評価し防災事業の計画立案を支援する方法において、前記自然災害発生の危険度に係わる複数の要因の属性値と前記自然災害発生・非発生の実績情報をデータ格納部に読み取り可能に格納する工程と、前記自然災害発生の危険度に係わる複数の要因とこの複数の要因に係るカテゴリー区間によって形成されるモデルをモデル格納部から選択する工程と、このモデルに含まれる複数の要因を組み合わせで整合度を解析し、該整合度と情報入力部により入力された該整合度に対する要求水準又は前記データ格納部に格納された該整合度に対する要求水準をデータ抽出部により読み出して比較しこの要求水準を満足する重要要因の組合せを前記モデル

4

格納部から選択されたモデルに含まれる複数の要因の中からモデル抽出部により抽出する工程(以下、本工程を重要要因選択工程という。)と、この重要要因選択工程において選択された重要要因の組合せとこの重要要因の組合せに係るカテゴリー区間によって形成されるルールにおける前記属性値と前記自然災害の発生・非発生の実績情報を前記データ格納部から前記データ抽出部により読み出して確信度及びサポートを解析し、該確信度及びサポートと前記情報入力部により入力された該確信度及びサポートに対する要求水準又は前記データ格納部に格納された該確信度及びサポートに対する要求水準を前記データ抽出部により読み出して比較しこれらの要求水準のいずれか一方を満足するルールを抽出する工程(以下、本工程を第1のルール抽出工程という。)と、この第1のルール抽出工程において抽出されたルール(以

10